

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第4回 上田市行財政改革推進委員会
2	日時	平成21年6月30日(火) 午後2時から午後3時58分まで
3	会場	丸子地域自治センター3階 第1会議室
4	出席者	小池会長、宮沢副会長、斉藤委員、高橋委員、武井委員、南雲委員、西沢委員、三井委員、宮下委員、森田委員 【欠席】鬼頭委員、櫻井委員、塩入委員、田中委員、堀内委員
6	市出席者	金子行政改革推進室長、鎌原係長、星野主査、市川主査
7	公開・非公開等の別	公開
8	傍聴者	0人 記者 0人
9	会議概要作成年月日	平成21年7月6日

協議事項等

1 開 会 (行政改革推進室長)

あいさつ (会長)

2 議事

(1) 前回会議録の確認について

(事務局) 前回の会議では、平成21年度の審議項目と日程についてご意見をいただいた。

会議録の内容について、訂正があれば事務局に申し出ていただきたい。訂正後、ホームページに掲載する。

(2) 提案公募型民間活力導入制度の創設について

(事務局) 提案公募型民間活力導入制度の概要、先進自治体の事例等について説明

(会長) 先進自治体の事例では、民間から提案を公募する際に全事務事業を公表しているが、具体的にどのような方法で公表しているのか。

<千葉県我孫子市がホームページで公表していた資料を回覧>

(会長) 先進事例として紹介された我孫子市と佐賀県以外に、制度を導入している自治体はどの程度あるのか。また、県内の事例はどうか。

(事務局) 愛知県高浜市や東京都杉並区など、全国的に見ても導入している自治体は数少ない。

また、県内に同様の制度を導入している自治体はない。

導入自治体の制度のほとんどは、草分けである我孫子市の制度を参考に独自要素を付け加えてつくられているが、特に佐賀県では協働化という面が強調されている。

(委員) 我孫子市の事例では、応募数がかなり減少している。

上田市に制度を導入する場合には、応募者がメリットを感じられるようにしなければ、応募してもらえないのではないか。

(委員) 上田市としては、どのような制度にしたいのか。

(事務局) 我孫子市の制度をそのまま取り入れるのではなく、上田市としてのオリジナリティを盛り込んだ制度としたい。

例えば、対象とする事務事業を示すまでの作業量に見合う効果が得られるような制度とすることに独自性を盛り込むことも一つと考える。

(委員) 指定管理者の候補者を公募するようなものか。

(事務局) 指定管理者制度のように行政が示した特定の事業の委託先を公募するのではなく、市が行っている事務事業について、広く民間から新たな担い手としての提案を募集する制度である。

(会長) 我孫子市が制度を創設したきっかけとして、法律の改正等があったのか。

(事務局) 平成18年7月に公共サービス改革法が施行され、戸籍謄本や住民票の発行等、特定の業務について民と官の競争により実施主体を選択できる市場化テストが導入された。

我孫子市の制度はこの法律に基づく市場化テストではないが、市場化テスト制度化の動きの中で、市長のトップダウンにより創設したとされている。

(委員) 以前、我孫子市に視察に行ったが、市民活動が盛んな地域で、浄化槽の業務について、市民から改善の提案があったことが制度創設のきっかけになったと聞いた。

提案を募集する際、我孫子市が行っている事業の内容や人件費等の経費を公表し、わからない部分があれば市から説明するようにしていたが、結果としてそれほど多くの提案は出されなかった。

原因としては、企業やNPO法人等が経費を積算してみると市がやるよりも高額になってしまったり、また利益が出るかどうかリスクがある中で、提案しにくいということが背景にあり、この制度を導入するのはなかなか難しいと感じた。

(会長) この審議会としては、先進事例の課題等を踏まえ、制度の導入は時期尚早だという提言もできるし、こうすればうまくいくという提言もできるかもしれない。

(委員) 行政のやっていることは民間でもできるということが言われるが、行政がやっている事業は収益性が低いものが多いので、実際に民間から手を上げてもらえる事業はかなり少ないのではないかと。

(委員) 提案を募集するために市の事業を公表しても、関心を持ってもらえない。逆に、市の施設を使ってこういう事業をやりたいというプランを募集した方がいいのではないかと。

(事務局) 提案公募型民間活力導入制度創設に対する上田市としての方針(原案)を説明。

(委員) 指定管理者制度では、民間事業者は市が決めた仕様のとおり施設の管理を行うことが中心だが、今回の制度では、施設の活用方法を含めて提案することも可能であり、民間事業者としての自由度は拡大するのではないかと考える。

(会長) 市が実施している事業の一覧を公表して、民間にやってもらえないかと言っても、民間の論理からすれば儲かるか儲からないかであるから、応募してもらうことは難しいのではないかと。

(委員) 画期的な制度であるが、うまく展開するために、制度を運用していくプロセスがキーになると思われるので、こういうやり方で運用すればいいというような提言もできるのでは。

(会長) 提案の受付窓口となる課について、行政改革を担当する行政改革推進室とするのか、陳情や要望の窓口となる秘書課にするかといったことでも制度の運用方法が異なってくる。

(委員) 行政は民間にできない事業をやっているということを知らしめるだけの制度となってしまうのではないかと考える。

(会長) いきなり全ての事業を公表して提案を募集するのではなく、民間活力導入指針に基づいて事業仕分けを行った結果を活用して、ある程度民営化等が考えられる事業を選択して募集することも、取り掛かりとしては有効と考えられる。

< 決定事項 >

今回は、我孫子市や佐賀県の制度の資料を参考に、上田市としての制度の骨格案を審議する。

3 次回の日程について

・7月16日(木) 午前10時から 市役所本庁舎5階 第1・2委員会室

4 閉会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。